

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成24年1月5日(2012.1.5)

【公開番号】特開2010-232166(P2010-232166A)

【公開日】平成22年10月14日(2010.10.14)

【年通号数】公開・登録公報2010-041

【出願番号】特願2010-39995(P2010-39995)

【国際特許分類】

H 05 B 33/10 (2006.01)

H 01 L 51/50 (2006.01)

H 05 B 33/12 (2006.01)

H 05 B 33/22 (2006.01)

【F I】

H 05 B 33/10

H 05 B 33/14 A

H 05 B 33/12 B

H 05 B 33/22 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月10日(2011.11.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

基板と、該基板上に設けられる複数の有機エレクトロルミネッセンス素子と、複数の有機エレクトロルミネッセンス素子を区分けする隔壁と、  
を備え、

前記複数の有機エレクトロルミネッセンス素子は、塗布法により形成される発光層と、該発光層を介在させて配置される一対の電極とを含んで構成され、前記発光層として、赤色発光する赤色発光層、緑色発光する緑色発光層、または青色発光する青色発光層を有する、

有機エレクトロルミネッセンス装置の製造方法であって、

親液性を示す隔壁と、前記一対の電極のうちの一方の電極とが設けられた基板を用意する工程と、

赤色発光層を形成するためのインキを、前記一方の電極上に塗布法により供給する赤インキ供給工程と、

緑色発光層を形成するためのインキを、前記一方の電極上に塗布法により供給する緑インキ供給工程と、

青色発光層を形成するためのインキを、前記一方の電極上に塗布法により供給する青インキ供給工程と、

供給したインキを固化する工程と、

前記一対の電極のうちの他方の電極を形成する工程とを含み、

赤インキ供給工程と、青インキ供給工程と、緑インキ供給工程とのうちで赤インキ供給工程を最後に行うことを特徴とする有機エレクトロルミネッセンス装置の製造方法。

【請求項2】

前記青インキ供給工程の後に前記緑インキ供給工程を行うことを特徴とする請求項1記

載の有機エレクトロルミネッセンス装置の製造方法。

【請求項 3】

前記塗布法が、ノズルコート法または有版印刷法であることを特徴とする請求項1または2記載の有機エレクトロルミネッセンス装置の製造方法。

【請求項 4】

前記塗布法が、凸版印刷法であることを特徴とする請求項1～3のいずれか1つに記載の有機エレクトロルミネッセンス装置の製造方法。

【請求項 5】

前記インキは、沸点が200℃以上の溶媒を含み、  
沸点が200℃以上の溶媒の、インキに対する割合が、5重量%以上であることを特徴とする請求項1～4のいずれか1つに記載の有機エレクトロルミネッセンス装置の製造方法。